

第11波 感染者数はいったん下がり、お盆明けにピーク

毎年 学校が夏休みに入った時期に、新規感染者数はいったん落ち着き、お盆明けに再び増加に転じるのが通例で**ピークは8月20日過ぎだと予測**しています。

若い人・健康な人は、コロナは風邪のようなものと感じているかもしれませんが。しかし、高齢者や持病のある方にとっては、やはり重症化リスクのある感染症です。帰省・旅行等に出かける若い方々は、感染源にならないよう十分に気を付けて貰いたい。

「KP.3」の感染力自体は強くないため、マスク装着で防げるタイプのウイルスです。マスク・手洗い・三密を避ける等の基本的感染対策を徹底すれば、予防は難しくないので。特に 夏場でエアコンの効いた部屋で多人数が集まる場合には、部屋の換気が不十分となるため、定期的に空気の入替えが必要です。

症状出ても病院に来ない人が増加

昨年5月に2類から5類に移行したことで、**通院や隔離等への強制力がなくなった**為に、**無症状の人が病院受診しない人が増加**しました。発熱・咽頭痛等の症状があり、受診した場合には医療費は自己負担となり、検査を受けるだけでも数千円はかかります。そうすると、症状が出ても、医者に診てもらおうと思わない人が増えています。「コロナは風邪と同じで、寝て入れれば自然に治る」と**通院も検査もしない人も増加傾向**にあります。処が、新型コロナはただの風邪ではありません。若く健康な人・症状が軽かった人でも、後遺症を訴える人が少なからずあります。比較的症状が軽いとされるオミクロン株でも、半年後に日常生活に影響がある後遺症を訴える人が8.5パーセントもあるとの報告もあります。

自己負担3万円 薬を飲まない高齢者

最も心配なのが、薬を飲まない人が増えていることです。これまで、高齢者や持病があり重症化リスクの高い人は、発症後すぐに「重症化リスクを下げる薬」を飲んできました。しかし、この薬の薬価は約10万円が2類の時は無料、**今年3月迄は公費負担があったので、最大9000円で処方**されてきました。処が、**4月からは通常の保険診療で自己負担が生じ、3割負担の人は約3万円**かかります。

コロナにかかった直後は、比較的症状が軽いこともあり「3万円もするなら飲まない」という人が、高齢者でも増えています。処が この薬は、このタイミングで飲むからこそ、症状が軽いままで済む。処が此処で飲まないと、高齢者や持病のある人は重症化する可能性があります。

未だコロナの決定的な治療薬はありません。タイミングが遅れ「生きるか死ぬか」の大変な状況で、投与して命を救ってくれる抗ウイルス薬はないのが現状です。